

令和6年3月15日

## 文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和6年3月15日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに121件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は14,151件となる予定です。

### 1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

|           | 新規登録 | 累 計    |
|-----------|------|--------|
| 登 録 件 数   | 121  | 14,151 |
| 関係都道府県数   | 22   | 47     |
| 関係市町村(区)数 | 38   | 1,021  |

### ○時 代 別 (件)

|      | 江戸以前  | 明 治   | 大 正   | 昭 和                |                     |                     | 計      |
|------|-------|-------|-------|--------------------|---------------------|---------------------|--------|
|      |       |       |       | 前期<br>(S元～<br>S20) | 中期<br>(S21～<br>S40) | 後期<br>(S41～<br>S64) |        |
| 新規登録 | 34    | 32    | 27    | 23                 | 5                   | 0                   | 121    |
| 累 計  | 2,551 | 4,448 | 2,873 | 3,596              | 628                 | 55                  | 14,151 |

### ○種 別 (件)

|     | 産 業 |       |       | 交通  | 官公<br>庁舎 | 学校  | 生活<br>関連 | 文化<br>福祉 | 住宅    | 宗教    | 治山<br>治水 | 他  | 計      |
|-----|-----|-------|-------|-----|----------|-----|----------|----------|-------|-------|----------|----|--------|
|     | 1次  | 2次    | 3次    |     |          |     |          |          |       |       |          |    |        |
| 新規  | 6   | 4     | 9     | 0   | 0        | 1   | 2        | 2        | 66    | 26    | 0        | 5  | 121    |
| 累 計 | 134 | 1,464 | 1,757 | 525 | 247      | 450 | 336      | 492      | 6,362 | 2,068 | 224      | 92 | 14,151 |

(件)

|      | 建 築 物  | 土木構造物 | その他の工作物 | 計      |
|------|--------|-------|---------|--------|
| 新規登録 | 95     | 2     | 24      | 121    |
| 累 計  | 11,255 | 674   | 2,222   | 14,151 |

今回の答申における主なもの

① 外観簡明な昭和戦前期の水道施設

016 旧神奈川県営湘南水道鎌倉加圧ポンプ所 神奈川県鎌倉市

昭和11年／同40年・令和4年改修

<sup>だいぶつずいどう</sup>  
大仏隧道鎌倉口に建ち、上水を加圧送水したポンプ所。鉄筋コンクリート造平屋建、外壁スクラッチタイル貼、腰を人造石とし、縦長窓と単窓を並べる。内部は矩形平面で北寄りを二層とし、階段廻りを幾何学的意匠で飾る。簡明な構成ながら入口等要所の意匠を凝らす。現在は飲食店として活用。



② <sup>おの</sup>小野宿の繁栄を伝える<sup>ほんむねづく</sup>本棟造りの<sup>はたご</sup>旅籠

027～028 旧小澤家住宅（油屋）主屋ほか1件 長野県辰野町 <sup>まんえん</sup>万延2年（1861）

<sup>さんしゅうかいどう</sup>  
三州街道沿いの小野宿に位置するかつての旅籠。通りに東面して建つ、<sup>きりづまづく</sup>切妻造り<sup>つまい</sup>妻入り鉄板葺きの建物で、<sup>すずめおど</sup>雀踊りと呼ぶ飾りを正面の棟に載せる当地域特有のつくり。街道に沿って長大な間口を構え、宿場の印象的な景観をつくる。現在は地域交流施設として活用。



③ <sup>にいっつねきち</sup>石油商・新津恒吉の華やかな別荘

032～34 旧新津家別邸主屋ほか2件 静岡県伊豆の国市

昭和12年／昭和後期頃・平成29年改修

伊豆半島北部の<sup>はたけ</sup>畑毛温泉に位置する別荘建築。設計は清水組の大友弘・矢田茂。2階建ての居間棟を中心に玄関・応接室、南西にサンルーム、北西に台所を配する大規模なもの。サンルームは窓のサンドグラスや、天井一面のアールデコ調ステンドグラスなど別荘に相応しい華やか意匠。



④ 大浴槽とヴォールト天井が圧巻の銭湯

052 旧朝日湯 大阪府泉佐野市

大正15年／令和4年改修

南海線泉佐野駅の北西に位置する旧銭湯。道に南面して建つ脱衣場棟の北に浴室棟2棟を接続する。浴室には中央に御影石製の<sup>みかげいし</sup>大浴槽を配し、上部はヴォールトと呼ぶ半円筒形の洋風天井とした豪華な銭湯。現在、西浴室はシアタールームなど、東浴室は泉佐野市教育委員会の事務所として活用。



⑤ 美しい木造小屋組の洋風教会と幼稚園園舎

077 育成幼稚園園舎兼日本聖公会櫻井聖保羅教会礼拝堂 奈良県桜井市 昭和5年

JR桜井駅の南東に位置する幼稚園舎及び教会。木造2階建てで、1階は幼稚園園舎、2階は礼拝堂として使用する。礼拝堂は上部に木造のシザーズトラスと呼ぶ洋風小屋組を現し、格調を高める。幼稚園園舎とともに地域が慣れ親しむ洋風教会。



⑥ 大村湾に浮かぶ魚雷試射用の人工島

116～120 旧佐世保海軍工廠川棚魚雷遠距離発射場射場 長崎県川棚町 大正7年

大村湾北部に位置する旧海軍の魚雷専用の発射試射施設。片島南西の沖合約 50 メートルの海上に造成した、東西 12 メートル、南北 24 メートル、コンクリートブロック造の人工島。南端に設けた切込みから魚雷を沈下して試射した。全国的に希少な軍事遺構。



<担当> 文化庁文化財第二課 電話：075-451-4111（代表）  
課長 田中 禎彦  
課長補佐 田中 佳幹  
登録部門 清永 洋平、隅田 拳志郎（内線 9755）  
審議会係 森 幸一郎、和田 智寛（内線 9756）

|    | 名称                           | 所在地     | 建設年代             | 特徴等  | 種別   | 種別  | 基準 |
|----|------------------------------|---------|------------------|--|------|-----|----|
| 1  | 清隆寺本堂                        | 北海道根室市  | T14/S50代改修       | 根室市街地に位置する真言宗寺院本堂。入母屋造(いりもやづく)り鉄板葺きとし、北面に軒唐破風(のきからはふ)付き向拝(こうはい)を配し千鳥破風を付す。向拝虹梁(こうりょう)、木鼻(きばな)、懸魚(げぎょ)の獅子(しし)、龍(りゅう)、鳳凰(ほうおう)など彫刻秀逸。  | 宗教   | 建築物 | 2  |
| 2  | 旧高野家住宅古稀庵(こきあん)              | 岩手県奥州市  | S6               | 水沢の要害跡南方にある史跡高野長英旧宅の敷地内に位置する離れ座敷の古稀庵、新座敷、板倉及び文庫蔵の瑞臯(ずいこう)文庫。昭和6年建築の古稀庵は、長英資料を収集した13代長運の古稀を祝って建築。平屋建ての東西棟で、西に玄関、東に二室を配し、東の座敷は床脇に窓を開けるなど自由な構成。主屋の東に位置する座敷棟は繊細な組子のガラス障子を建込み、四周を塗込めた折上天井など独特な意匠。板倉は側柱(がわはしら)に板を落し込み、外部に半柱を立てて柱を密に見せ、西面は土台下に木瓜(もっこう)形の透彫り板で飾る。堅牢な外観が敷地北東の景観をつくる。高野長英の号、瑞臯を付す文庫は方形平面の土蔵造。内部は一室で北寄りに高野長英関係資料の保管用金庫を据える。両側面の窓に鉄格子を嵌めるなど厳重なつくり。 | 住宅   | 建築物 | 2  |
| 3  | 旧高野家住宅新座敷                    |         | S16頃             |  | 住宅   | 建築物 | 2  |
| 4  | 旧高野家住宅板倉                     |         | M後期              |  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 5  | 旧高野家住宅瑞臯(ずいこう)文庫             |         | S7               |  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 6  | 横田家住宅板倉                      | 宮城県仙台市  | M13/S53改修、H8移築   | 仙台市東部に位置する農家の道具蔵兼初蔵。敷地に西面して建つ二階建て切妻造り平入り鉄板葺き。側柱の間に横板を落とし込んで外壁とし、西面南寄りを戸口とする。小規模ながら丁寧なつくりで当地域特有の板蔵。   | 住宅   | 建築物 | 2  |
| 7  | 日本基督教団岩沼教会                   | 宮城県岩沼市  | S5/H4・同24改修      | 岩沼の市街地に位置する教会。石造平屋建ての礼拝堂に塔屋を付属。内部は玄関から東へ礼拝室、講壇(こうだん)を配し、小屋はハンマービームとタイバーを用いた天井を折上げる。石造の重厚な外観が地域景観をつくる。  | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 8  | 藤田家住宅店舗兼主屋                   | 福島県白河市  | T前期/S中期・H30改修    | 小峰旧城下の角地に建つ味噌醤油醸造業の店舗兼主屋、座敷蔵及び土蔵。店舗兼主屋は奥州街道に東面する2階建て店舗の西に平屋建ての主屋を接続。ガラス戸の開放的な外観が街道景観を形成。座敷蔵は床廻りに黒檀(こくたん)や紫檀(したん)など用材吟味した良質な近代和風建築。土蔵は外壁漆喰塗仕上とし、軒に鉢巻を廻らし、敷地北西の景観をつくる。座敷蔵と土蔵は、現在は藤田記念博物館として活用。   | 産業3次 | 建築物 | 1  |
| 9  | 藤田家住宅座敷蔵                     |         | M41              |  | 産業3次 | 建築物 | 2  |
| 10 | 藤田家住宅土蔵                      |         | E末期/M41頃改修       |  | 産業3次 | 建築物 | 1  |
| 11 | 桜町二宮(さくらまちにのみや)神社本殿          | 栃木県真岡市  | S16              | 二宮尊徳没後八十年を記念し、史跡桜町陣屋跡の東方に建立した神社本殿、拝殿及び幣殿。本殿は覆屋(おおいや)内の基壇上に南面して建つ、一間社(いっけんしゃ)流造(ながれづく)り、円柱に三斗(みつど)を組み、妻飾りは冢叔首(いのこさす)とする。拝殿及び幣殿は本殿南の基壇上に建ち、拝殿は正面に一間向拝と千鳥破風(ちどりはふ)を付し、三方に勿高欄(はねこうらん)付縁を廻らす。いずれも装飾を抑えた質実なつくりの社殿。   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 12 | 桜町二宮神社拝殿及び幣殿                 |         | S16              |  | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 13 | 旧川本家住宅主屋                     | 神奈川県横浜市 | S8               | 横浜港北西の丘陵に位置する旧家の主屋、内蔵、表門及び石垣。平屋建ての主屋は京浜電気鉄道の隧道(ずいどう)開削に伴い新築。内部は廊下や部屋境の棚の配置などで各室の独立性を高めた近代的な平面。寄木張り床の応接室を含め外観和風で統一した良質な近代和風住宅。内蔵は主屋北西に接続する家財蔵。隧道開削以前から存在しつつ、外観重厚ながら主屋と良く調和した土蔵。緩やかな石段上に建つ表門は袖塀付きで屋根に起りを付す。石垣は凝灰岩のブラフ積で上部に低い石塀を載せる。いずれも丁寧なつくりで屋敷の表構えを整える。現在、地域での活用方針を検討中。  | 住宅   | 建築物 | 2  |
| 14 | 旧川本家住宅内蔵                     |         | M32/S8移築         |  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 15 | 旧川本家住宅表門及び石垣                 |         | S8頃              |  | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 16 | 旧神奈川県営湘南水道鎌倉加圧ポンプ所           | 神奈川県鎌倉市 | S11/S40・R4改修     | 大仏坂(だいぶつざか)隧道鎌倉口に建ち、上水を加圧送水したポンプ所。鉄筋コンクリート造平屋建て、外壁スクラッチタイル貼、腰を人造石(じんぞうせき)とし縦長窓と単窓を並べる。簡明な構成で入口等要所の意匠を凝らす。現在は飲食店として活用。  | 生活関連 | 建築物 | 2  |
| 17 | 旧鎌倉図書館                       | 神奈川県鎌倉市 | S11/R5改修         | 市役所東側の敷地に南面して建つ旧図書館。木造二階建ての外観は一・二階通しの柱形(はしらがた)を付して縦長窓を多用し、懸魚を付した大きな切妻屋根を架ける。シンプルな和洋折衷意匠が特徴的な図書館建築。現在は児童施設として活用。  | 文化福祉 | 建築物 | 2  |
| 18 | 白髯(しらひげ)神社拝殿                 | 長野県長野市  | M11/T12・H29改修    | 長野市西方の山間、桃山時代建立の重文本殿の東に建つ拝殿。入母屋造り平入りの正面に軒唐破風付き向拝を配し、千鳥破風を飾る。破風を重ね外観華やかな拝殿。   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 19 | 離山(はなれやま)神社本殿                | 長野県長野市  | E中期/文化13(1816)改修 | 松代城跡南西の小山に鎮座する本殿、拝殿・祝詞殿及び本殿上屋。本殿は境内北の覆屋内に南面して建つ、一間社流造りこけら葺き。全体に塗装彩色を残し、丁寧なつくりの本殿。拝殿・祝詞殿(のりとでん)及び本殿上屋(うわや)は、境内南辺に建つ複合社殿。拝殿は正面に向拝を付して、側面は斜面上に縁を張出し、懸造(かけづく)りとする特異な形式。丘上の高低差を巧みに利用した雄大な社殿。  | 宗教   | 建築物 | 2  |
| 20 | 離山神社拝殿・祝詞殿(のりとでん)及び本殿上屋(うわや) |         | 文化13(1816)/H27改修 |  | 宗教   | 建築物 | 1  |

|    | 名称                                    | 所在地        | 建設年代             | 特徴等  | 種別   | 種別  | 基準 |
|----|---------------------------------------|------------|------------------|--|------|-----|----|
| 21 | 旧佐藤家住宅(藤本)一号蚕室                        | 長野県上田市     | M23/H12改修        | 上田市街地北西に位置し、藤本を屋号とする旧蚕種(さんしゅ)製造販売業の屋敷。昭和2年に焼失した主屋以外に一号蚕室、一号蚕室附属室蚕室、二号蚕室、文庫蔵、味噌蔵及び表門が残る。敷地中央に建つ一号蚕室は二階建ての南北棟。地下貯桑庫(ちようそうこ)や火炉(かろ)、簀子(すのこ)天井や開閉式換気口など残る。附属室は一号蚕室の北に接続する蚕室。二号蚕室は二階建ての東西棟で、棟全体に越屋根を設け、南北に下屋を付す。内部は火炉、簀子天井や開閉式換気口など残し、往事の蚕種業の様相を伝える。文庫蔵は文書や家財などの収納蔵。壁は角材を積上げたいわゆる井籠蔵で、外壁は漆喰塗仕上とした貴重な構造の蔵。味噌蔵は一階は一室の土間で味噌蔵、二階は一室の板敷で道具蔵とする。二階上部は垂木上面を簀子状とし、羽重ねに張った野地板を現す珍しいつくり。表門は通りから路地で引込んだ敷地入口に南面する薬医門(やくいもん)。全体に木柄が太く、重厚な外観で、敷地の表構えを整える。 | 産業1次 | 建築物 | 1  |
| 22 | 旧佐藤家住宅(藤本)一号蚕室附属室                     |            | M中期              |  | 産業1次 | 建築物 | 1  |
| 23 | 旧佐藤家住宅(藤本)二号蚕室                        |            | M23              |  | 産業1次 | 建築物 | 1  |
| 24 | 旧佐藤家住宅(藤本)文庫蔵                         |            | M前期              |  | 産業1次 | 建築物 | 1  |
| 25 | 旧佐藤家住宅(藤本)味噌蔵                         |            | M前期              |  | 産業1次 | 建築物 | 1  |
| 26 | 旧佐藤家住宅(藤本)表門                          |            | M中期/M37移築        |  | 産業1次 | 工作物 | 1  |
| 27 | 旧小澤家住宅(油屋)主屋                          | 長野県上伊那郡辰野町 | 万延2(1861)/S50代改修 | 三州街道の小野宿北寄りに位置し、かつて旅籠(はたご)を営んだ主屋。通りに東面する本棟造(ほんむねづくり)で棟頂部に雀踊りを飾る。広い式台玄関が格式を示す規模雄大な町家。同時期建築の表門は、通りに東面する薬医門。正面側は先端に実肘木(さねひじき)付平三斗を置き、丸桁(がぎょう)を支持。勇壮な構えで旅籠の格式を伝える表門。平成29年に辰野町所有、現在は地域交流施設として活用。  | 産業3次 | 建築物 | 1  |
| 28 | 旧小澤家住宅(油屋)表門                          |            | E末期/S50代改修       |  | 産業3次 | 工作物 | 1  |
| 29 | 旧小野村下町(しもまち)火の見櫓                      | 長野県上伊那郡辰野町 | S30              | 伊那街道沿いに建つ高さ17メートルの鉄骨造の櫓。頂部に設けた見張台に尖塔形宝形(ほうぎょう)屋根を載せ、中央に半鐘を吊る。軒先の蕨手(わらびて)状飾りなど繊細な装飾を施した地域のランドマーク。   | 生活関連 | 工作物 | 1  |
| 30 | 古橋家住宅門及び塀                             | 静岡県静岡市     | S3頃              | 静岡浅間神社北西の市街地に位置する和洋折衷住宅の門及び塀。既登録の主屋と同時期の昭和3年頃建築で、通りに西面する門は柱を石張とし頂部の切妻屋根を釉薬瓦葺とする。両脇に続く塀と一体で地域の歴史的な景観を形成する。  | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 31 | 旧石川家清水別邸(三樹庵)主屋                       | 静岡県静岡市     | S15/S45頃増築       | 富士山を望む日本平(にほんだいら)東麓の農園に建つ別邸主屋。施主の石川武美(たけよし)は主婦の友社を創業した実業家。設計監督は江口義雄。接客部は太い柱を差物で固めた民家風、居住部は舟底天井など端正な数寄屋風とする。平面や意匠に変化のある上質な別邸建築。   | 住宅   | 建築物 | 2  |
| 32 | 旧新津家(にいつけ)別邸主屋                        | 静岡県伊豆の国市   | S12/S後期・H29改修    | 畑毛(はたけ)温泉にある石油商の別邸。主屋、土蔵及び表門からなり、設計は清水組の大友弘・矢田茂。施主の新津恒吉は新津石油を創業した実業家。主屋は全体和風基調で居間棟は各階和室の縁にガラス戸を建てる。玄関棟のサンルームは天井にアールデコ調スタンドグラスを飾るなど和洋の意匠を巧みに用いた優美な別荘建築。土蔵は主屋の西に建つ家財蔵。両妻に庇付の窓を開き、北妻に家紋を飾る。表門は敷地西辺に開き、化粧の棟木、桁を丸太とし流板張の軒を深めに出しつつ軽快にみせ、自由かつ繊細な意匠。   | 住宅   | 建築物 | 2  |
| 33 | 旧新津家別邸土蔵                              |            | S12/R3改修         |  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 34 | 旧新津家別邸表門                              |            | S12/S後期頃改修       |  | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 35 | 下郷家(しもざとけ)住宅(千代倉(ちよくら)本家)紅葉蔵          | 愛知県名古屋市    | M24              | 東海道鳴海宿中心部にある商家の家財蔵2棟。紅葉蔵は外壁は黒漆喰塗で腰は下見板張。二階は北面に神棚を備え太い地棟に登梁形式の小屋をみせる。中蔵は、東面下屋の南二間を紅葉蔵と一連のガラス戸を建て、北は吹放ちの土間。重厚な外観が紅葉蔵とともに商家の敷地景観を形成。  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 36 | 下郷家住宅(千代倉本家)中蔵                        |            | M26              |  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 37 | 旧神谷家住宅主屋                              | 愛知県安城市     | T9/S58頃改修        | 史跡本證寺(ほんしょうじ)境内内堀の南東敷地に南面して建つ農家の主屋。床上は六間取とし、前列西端室を仏間、後列西に角座敷を延ばし、正背面に縁を通す。前列に三室配して上段の仏間に続くなど説法に対応した西三河平野部の民家。  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 38 | 京都大学東南アジア地域研究研究所図書室本館(旧京都織物株式会社本社事務所) | 京都府京都市     | M22/S46・H21改修    | 京都大学吉田キャンパス内に位置する旧織物工場の事務所。並列する東西棟2棟を南北棟で繋ぎ、全体にH形平面。南北棟は中央に半円アーチの通路と窓を開けたゲート的な建物。現在は図書室として活用。  | 産業2次 | 建築物 | 1  |
| 39 | 岡墨光堂(おかぼっこうどう)主屋                      | 京都府京都市     | T11              | 富小路通(とみのこうじどおり)に西面する表具業の屋敷。主屋、職場、表蔵及び奥蔵からなる。主屋は表屋造(おもてやづくり)で、通りに面した事務所棟には残月床(ざんげつど)風の座敷やマントルピースを備えた洋室など、上質な客間を配す。職場は表装などを行う作業場。2階建鉄筋コンクリート造の東西棟で、鉄扉を吊った窓が並ぶ厳重なつくり。表蔵は通りに面して建ち、表具などを仮置する土蔵。奥蔵は主屋の東に建つM20建築の家財蔵。外壁は漆喰塗仕上とし、腰は堅板張。一階西面の窓と戸口に掛子塗扉を吊り、外観重厚で丁寧なつくりの土蔵。   | 産業3次 | 建築物 | 1  |
| 40 | 岡墨光堂職場                                |            | T11              |  | 産業3次 | 建築物 | 1  |
| 41 | 岡墨光堂表蔵                                |            | M中期/T11移築        |  | 産業3次 | 建築物 | 1  |
| 42 | 岡墨光堂奥蔵                                |            | M20              |  | 産業3次 | 建築物 | 2  |
| 43 | 酒井家住宅主屋                               | 京都府亀岡市     | E後期/S中期改修        | 亀岡市南西の山間に位置する旧家の主屋。敷地中央に南面して建つ入母屋造り平入り茅葺き(鉄板仮葺き)で四周に棧瓦葺下屋を付す。軸部木太く、南面中央に式台を構えて、格式を備えた主屋。   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 44 | 近藤家住宅主屋                               | 京都府南丹市     | E末期/S9増築、H3改修    | 天若湖(あまわかこ)の北の谷間にある農家の主屋。敷地北寄りに南面して建つ入母屋造り平入り茅葺きで、東に入母屋造り棧瓦葺きの増築棟を延ばす。茅葺き屋根が地域の歴史的な景観をつくる民家。  | 住宅   | 建築物 | 1  |

|    | 名称                        | 所在地               | 建設年代                | 特徴等   | 種別   | 種別  | 基準 |
|----|---------------------------|-------------------|---------------------|---|------|-----|----|
| 45 | 林家住宅主屋                    | 京都府南丹市            | M16/S中期増築改修・R4改修    | 美山の山間集落の高台に位置し南面して建つ旧家の主屋。平屋建南北棟の入母屋造り平入り茅葺き(鉄板仮葺)で、南・西面に棧瓦葺の下屋を付す。大規模な主屋が地域景観を形成する。現在は宿泊施設として活用。   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 46 | 市川家住宅(旧亀岡家別荘)主屋           | 大阪府大阪市            | T後期/H元改修            | 船場の実業家の別荘。主屋、土蔵、表門及び塀、北中門及び待合、南中門からなる。主屋は全体に和風を基調としつつ、二階南西隅の洋室は白色塗の外壁に上下窓、緩いアーチ形の小壁で飾るベランダなど外観が目惹く。土蔵はかつての家財蔵。南面窓に塗込の鎧庇を付し、道路の突当りに建ち、景観の要。現在はフラメンコ教室として活用。表門は通りから引込み東面する腕木門。屋根上部に目板瓦葺の高塀を付した特徴的な外観。北中門は柱や棟木、桁に出節丸太、冠木にサクラの皮付丸太、軒裏に杉皮を用いるなど西脇に接続する待合とともに凝ったつくり。南中門は表門から主屋玄関への苑路南側に建つ腕木門。柱や棟木、楣などに皮付丸太、正面桁になぐり仕上の面皮材を用い、苑路から来客を迎える軽快なつくり。   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 47 | 市川家住宅(旧亀岡家別荘)土蔵           |                   | T後期/S63改修           |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 48 | 市川家住宅(旧亀岡家別荘)表門及び塀        |                   | T後期                 |   | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 49 | 市川家住宅(旧亀岡家別荘)北中門及び待合      |                   | T後期/S後期改修           |   | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 50 | 市川家住宅(旧亀岡家別荘)南中門          |                   | T後期/S後期改修           |   | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 51 | 税家(うだつや)(旧角谷家(すみたにけ)住宅)主屋 | 大阪府大阪市            | T2/S40代増築、H27改修     | 南海電鉄岸里玉出(きのさ)とたまでえき)駅の南東に位置する町家。つし二階建て切妻造り平入りで、正面庇の両脇に棧瓦葺き卯建壁を付し漆喰塗仕上とする。重厚な外観が地域の歴史的景観に寄与。現在は宿泊施設「税家」として活用。  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 52 | 旧朝日湯                      | 大阪府泉佐野市           | T15年/R4改修           | 孝子越(きょうしごえ)街道に南面して建つ旧銭湯。片入母屋造り平入り棧瓦葺きの脱衣場は庇中央を切上げ入口とし、北に浴室2棟を接続。西浴室は中央に御影石製の浴槽を残し、上部はヴォールト天井を現すなど豪華なつくり。現在は西浴室はシアタールームなど、東浴室は泉佐野市教育委員会の事務所として活用。  | 文化福祉 | 建築物 | 2  |
| 53 | 加支多神社本殿                   | 大阪府泉佐野市           | T4                  | 見出川(みでがわ)河口左岸、熊野街道沿いに位置する神社。本殿。拝殿及び幣殿、神饌所からなる。本殿は近隣村社合祀に伴う再建(さいこん)で、基壇上に南面して建つ一間社流造檜皮葺(銅板仮葺)。庇柱は虹梁形頭貫を用いず、三斗組で丸桁と海老虹梁(えびこうりょう)を受ける。全体に簡素で整然とした意匠。拝殿及び幣殿は、境内中央に南面して建ち、重厚な本瓦葺屋根が境内景観を形成。神饌所は本殿の西に位置し、基壇上に東面して建つ一間社流造り。全体的に装飾少ないながらも丁寧なつくりの小社で境内の歴史的景観を形成。   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 54 | 加支多神社拝殿及び幣殿               |                   | T4                  |   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 55 | 加支多神社神饌所(しんせんしょ)          |                   | S3                  |   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 56 | 旧井上家住宅主屋                  | 大阪府東大阪市           | 天明4(1784)/M中期・S53改修 | 生駒山(いこまさん)西麓に位置する旧家の屋敷。敷地中央に南面して建つ主屋の周囲に北西から南東に内蔵、中蔵、北蔵、裏米蔵、北納屋、東納屋、東門及び納屋、表米蔵、表門が建ち、主屋の南に広がる庭の東辺北寄りに庭門及び土塀、敷地周囲を土塀が囲む。主屋は桁行一・二間梁間五間半の大和棟で茅葺き(銅板仮葺)とし、周囲に棧瓦葺き下屋を廻らし、南東に井戸屋を突出する。桁行長大な大和棟の民家。内蔵は仏具などの家財蔵。二階上部は妻梁用いず、棟木と母屋を現す。中蔵は調度品など収納する家財蔵。石垣上に東面して建ち、二階上部は妻梁用いず、曲り材の母屋を現す。北蔵は切石積の石垣上に建つ道具蔵で敷地内最大規模の土蔵。裏米蔵は北蔵と並び建ち、北納屋は桁行長大な納屋。いずれも敷地北方の景観をつくる。東納屋は一階は南北4室に仕切り、各室は土間で西面に半間の戸口を設ける。東門及び納屋は敷地東辺に建つ長屋門。東納屋及び表米蔵と連続し、敷地東辺の長大な屋敷構えをつくる。表米蔵は敷地南東隅、溜池に面して建つ。南妻二箇所の窓上に漆喰塗込の鎧庇を付し、敷地南東景観の要となる。表門は敷地南に通りより引込んで建つ長屋門。旧家の風格を示す規模長大な長屋門。庭門は東面して建つ腕木門で土塀は漆喰塗仕上で棧瓦葺とし、表門から主屋への通路沿いの景観をつくる。表門から西、北へ延び、敷地の上段と下段の外周を廻り、東納屋に取り付く総延長一七九メートルの土塀が、旧家の風格ある屋敷景観をつくる。 | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 57 | 旧井上家住宅内蔵                  |                   | E末期                 |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 58 | 旧井上家住宅中蔵                  |                   | E末期                 |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 59 | 旧井上家住宅北蔵                  |                   | E末期/T2改修            |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 60 | 旧井上家住宅裏米蔵                 |                   | E末期/S40頃改修          |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 61 | 旧井上家住宅北納屋                 |                   | S前期                 |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 62 | 旧井上家住宅東納屋                 |                   | E末期/H7改修            |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 63 | 旧井上家住宅東門及び納屋              |                   | E末期/T前期・H7改修        |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 64 | 旧井上家住宅表米蔵                 |                   | E末期/T前期・H11改修       |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 65 | 旧井上家住宅表門                  |                   | E末期/T前期・S中期改修       |   | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 66 | 旧井上家住宅庭門及び土塀              |                   | E末期                 |   | 住宅   | 工作物 | 1  |
| 67 | 旧井上家住宅土塀                  | E末期/M中期・S前期・H11改修 | 住宅                  | 工作物   | 1    |     |    |

|    | 名称                      | 所在地          | 建設年代             | 特徴等   | 種別   | 種別  | 基準 |
|----|-------------------------|--------------|------------------|---|------|-----|----|
| 68 | 千早神社本殿                  | 大阪府南河内郡千早赤阪村 | S3/S50改修         | 史跡千早城跡二の丸に位置する神社。大江新太郎設計の本殿、拝殿及び渡廊、末社、手水舎、社務所と小宮(旧本殿)からなる。本殿は桁行三間梁間二間切妻造り妻入り銅板葺きで棟に千木(ちぎ)と堅魚木(かつおぎ)を置く。扉などに流麗な意匠の鍔金具(かざりかなぐ)を飾り、全体に木柄細く端正な姿の本殿。拝殿及び渡廊は、側廻りは背面中央に御扉(みとびら)を建てる他は全て吹放ち。流麗な意匠の鍔金具を付した御扉のみが背景の森から浮かび上がる。末社は基壇上に南面して建つ桁行三間梁間一間で螭羽を深くつくる。妻に飾る縦長の懸魚や桁隠(けたかくし)など本殿意匠に通じる。手水舎(てみずしゃ)は主柱を棟木まで延ばし、前後に低い控柱を立てて貫で固める。簡明ながら存在感を示し境内景観をつくる。社務所は軒薄く螭羽が深い切妻屋根を前方に突出して強調した力強い外観が特徴的。小宮(旧本殿)は参道に南面する一間社流造りの旧本殿。肘木や虹梁に絵様(えよう)を入れ、庇の中備(なかぞなえ)に菊と波の彫刻を付す。小規模ながら装飾豊富な社殿で、境内の旧景を伝える。 | 宗教   | 建築物 | 2  |
| 69 | 千早神社拝殿及び渡廊              |              | S3/S50改修         |   | 宗教   | 建築物 | 2  |
| 70 | 千早神社末社                  |              | S7/S50改修         |   | 宗教   | 建築物 | 2  |
| 71 | 千早神社手水舎(てみずしゃ)          |              | S3/S50改修         |   | 宗教   | 工作物 | 1  |
| 72 | 千早神社社務所                 |              | S7/S50改修         |   | 宗教   | 建築物 | 2  |
| 73 | 千早神社小宮(旧本殿)             |              | M7/S56改修         |   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 74 | 前野家住宅(本家門前屋)店舗兼主屋       | 兵庫県栗原市       | E末期/H22改修        | 山崎(やまさき)旧城下の酒蔵通りの角地に建つかつて酒造業を営んだ商家の主屋、土蔵及び西蔵。主屋は長大な間口で出桁(だしげた)の持送を並べた賑やかな外観の町家。土蔵は通りに面する道具蔵。小屋にへの字状で一材の登梁を用いる。主屋と一体で続き、長大な間口の屋敷景観を形成。西蔵はかつての仕込蔵。2階建て半切妻造りの南北棟で南妻に戸口を開け、東面北寄りに木製スロープを付し二階に至る。梁間大きく長大な土蔵で酒造業の繁栄を伝える。  | 産業2次 | 建築物 | 1  |
| 75 | 前野家住宅(本家門前屋)土蔵          |              | E末期              |   | 産業2次 | 建築物 | 1  |
| 76 | 前野家住宅(本家門前屋)西蔵          |              | T9/S中期改修         |   | 産業2次 | 建築物 | 1  |
| 77 | 育成幼稚園園舎兼日本聖公会櫻井聖保羅教会礼拝堂 | 奈良県桜井市       | S5/S55改修         | JR桜井駅南東にある幼稚園園舎兼礼拝堂。木造二階建てで外壁は下見板張、腰は一部モルタル洗出仕上げ、上部に矩形と尖塔アーチ窓を開く。一階は園舎、二階は東西に長い単廊の礼拝堂とし、小屋組はシザートラス。地域が親しむ切妻屋根の園舎兼礼拝堂。   | 宗教   | 建築物 | 1  |
| 78 | 旧岩橋家住宅事務所兼主屋            | 和歌山県海南市      | M45/S38頃改修       | 黒江の川端通りに北面する旧漆器製造販売業の事務所兼主屋、煉瓦蔵及び土蔵。主屋は二階外壁は黒漆喰仕上。背面の座敷棟はスギの良材を用い、床と付書院を備えた上質な続きの座敷。間口長大で地域の景観をつくる大型町家。煉瓦蔵は主屋の西に建つ家財蔵。壁体はイギリス積で外壁は黒漆喰仕上とし軒に鉢巻を廻し、腰は緑釉タイル貼り。煉瓦蔵を土蔵風にみせた重厚な外観。土蔵は敷地南東隅に建つ漆器収納蔵。西棟東端に南北棟が接続し全体は矩折れの平面。事務所兼主屋と一体で敷地景観を形成。   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 79 | 旧岩橋家住宅煉瓦蔵               |              | M後期/S38頃改修       |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 80 | 旧岩橋家住宅土蔵                |              | T前期              |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 81 | 菌家住宅主屋                  | 和歌山県御坊市      | E末期              | 御坊市の新町通りに位置する旧廻船業の屋敷。通りに面して建つ主屋の周囲に、北西から南東に人形蔵、離れ、西土蔵、東土蔵、南土蔵及び片塀からなる。主屋は通りに南面し、中央東寄りを戸口、西は出格子構え、東は下見板張の洋風意匠。建ちの低い町家で、地域の歴史的な景観の核をなす。人形蔵は雛人形などを収納する蔵。東面して建ち、窓小さく閉鎖的な外観。離れは各階は北に寄せて押入付六畳を配し、二階は北面窓から下川を望む。西土蔵は膳などの収納蔵。外壁は漆喰塗仕上で腰を縦板張とする。窓小さく閉鎖的な土蔵。東土蔵は家財蔵。2階建て本瓦葺きで敷地北辺に重厚な屋敷景観をつくる。南土蔵は食器などの道具蔵。2階建て本瓦葺きで外壁は漆喰塗仕上。片塀は敷地東面の南土蔵から北面の東土蔵に至る、倉庫を兼ねる塀。北東部で西へ折れ曲がる梁間1間平屋建て、招き屋根形の本瓦葺きで、南端の桁行2間梁間1間半は漬物部屋とする。屋敷構えを印象づける長大な塀。  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 83 | 菌家住宅人形蔵                 |              | E末期              |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 84 | 菌家住宅離れ                  |              | S28頃             |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 85 | 菌家住宅西土蔵                 |              | E末期              |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 86 | 菌家住宅東土蔵                 |              | E末期              |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 82 | 菌家住宅南土蔵                 |              | T後期/S28頃改修       |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 87 | 菌家住宅片塀                  | E末期          | 住宅               | 工作物   | 1    |     |    |
| 88 | 岡崎家住宅(旧栗須家住宅)主屋         | 和歌山県新宮市      | E末期/S40頃改修       | 里高田(さとたかた)集落の中央部に位置する旧家の屋敷。敷地北寄りに東面して建つ主屋の南東に蔵、納屋が建ち、敷地周囲を石塀が廻る。主屋は、平屋建て切妻造り平入り。南に土間、北に六室配し、北東の座敷は正面広縁付きとし、床は押板で古式なつくり。建ちが低く、旧杉皮葺きの屋根勾配を残した民家で、地域の歴史的な景観をつくる。蔵は北面して建つ家財蔵。二階建て鉄板葺きの板蔵で、正面西寄りを戸口とし庇を付す。小規模ながらも木太く、旧杉皮葺きの貴重な板蔵。納屋は二階建ての鉄板葺で四週に下屋を付し、東面南寄りは軒を深くつくり、軒下を作業場とする。石塀は屋敷地の外周、北、東、西にコ字形に巡る折れ曲がり総延長約七六メートルの石塀。防風を兼ねた石塀が地域の特色ある景観を形成する。  | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 89 | 岡崎家住宅(旧栗須家住宅)蔵          |              | 元治2(1865)/H10頃改修 |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 90 | 岡崎家住宅(旧栗須家住宅)納屋         |              | M後期/H10頃改修       |   | 住宅   | 建築物 | 1  |
| 91 | 岡崎家住宅(旧栗須家住宅)石塀         |              | E末期              |   | 住宅   | 工作物 | 1  |

|     | 名称                         | 所在地        | 建設年代                  | 特徴等  | 種別 | 種別  | 基準 |
|-----|----------------------------|------------|-----------------------|--|----|-----|----|
| 92  | 嶺山家住宅主屋                    | 和歌山県有田郡広川町 | M後期/S40頃改修            | 旧広村中心部にある商家の主屋。通りに東面し、一階南寄りを戸口とし北に三連の出格子を構え、二階は軒を出桁(だしげた)とし袖壁を付す。建ちが低く、重厚な外観が歴史的景観を形成。   | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 93  | 大樹寺本堂                      | 鳥取県八頭郡八頭町  | T9                    | 市場城(いちばじょう)跡東方の山腹にある曹洞宗寺院、境内中央に西面する本堂の背面に開山堂。北西に僧堂、南西に鐘楼が位置する。本堂は入母屋造り平入り棧瓦葺き。正面向拝は垂木を湾曲させ、中備・手挟(たばさみ)は彫刻豊か。棟が高い大規模本堂の姿が地域の歴史的な景観をつくる。開山堂は一段高い石積上に西面して建ち、内部は一室で格天井張、東側に円柱を立て虹梁を渡し須弥壇(しゅみだん)を設ける。周囲の位牌棚は柱を省略し、垂壁を廻らした軽快なつくり。僧堂は南面して建つ入母屋造り平入り棧瓦葺き。往時は中国地方唯一の専門僧堂であったという由緒を伝える大型の僧堂。鐘楼は基壇上に東面して建ち、礎盤上に円柱を内転びに立て正面に中央上方が湾曲する腰貫を用いる。戦時供出した梵鐘再鑄(さいちゅう)記念の鐘楼で伽藍景観の一翼を担う。 | 宗教 | 建築物 | 1  |
| 94  | 大樹寺開山堂                     |            | S26                   |  | 宗教 | 建築物 | 1  |
| 95  | 大樹寺僧堂                      |            | S30/H23改修             |  | 宗教 | 建築物 | 1  |
| 96  | 大樹寺鐘楼                      |            | S29                   |  | 宗教 | 工作物 | 1  |
| 97  | 由加神社拝殿及び幣殿                 | 岡山県倉敷市     | 安永6(1777)/天保9(1838)改修 | 倉敷市街南東の瑜加山(ゆかさん)に位置する神社。寛延元年(1748)建立の本殿は県指定文化財で、その南の拝殿及び幣殿、本殿東隣の三宝荒神社本殿、境内南西に大鳥居が建つ。拝殿は南面して建つ入母屋造り平入りで正面に3間向拝を設け千鳥破風を付し、前方に天保9(1838)増築の向唐破風(むかいからはふ)造り向拝を突出する独特な形式の社殿。三宝荒神社本殿は南面して建つ方一間、正面入母屋造り、背面切妻造り、妻入り銅板葺き。組物は連三斗、軒は二軒繁垂木、中備は墓股(かえるまた)。板状の頭貫木鼻など古式なつくり。大鳥居は西面して建ち、備前焼の部材を組み上げた春日鳥居。柱と貫の交差部や島木と笠木の一部などに一体焼成部材を用いる。高度な技術で製作した大規模備前焼作品で地域の象徴的存在の鳥居。               | 宗教 | 建築物 | 1  |
| 98  | 由加神社三宝荒(さんぼうこう)神社本殿        |            | E後期/H9改修              |  | 宗教 | 建築物 | 1  |
| 99  | 由加神社大鳥居                    |            | M27                   |  | 宗教 | 工作物 | 1  |
| 100 | 旧渡邊家住宅主屋                   | 香川県木田郡三木町  | E末期/S36増築、R5改修        | 白山(しらやま)駅西方に位置する旧家の主屋と茶室。主屋は切妻造り棧瓦葺き南北棟の北に入母屋造り茅葺き(銅板仮葺)の東西棟を接続し全体T字形平面とする。座敷は漆塗の床框に菊花紋を付し、付書院の蕨火頭(わらびかとう)窓など華やかな数寄屋風意匠。弧月庵及び白雲軒は内部は東が二畳半柵床の白雲軒、西が四畳の弧月庵とする。四半敷の土間や波連子(なみれんじ)窓など内外に数寄屋風意匠を凝らした茶室。  | 住宅 | 建築物 | 2  |
| 101 | 旧渡邊家住宅弧月庵及び白雲軒             |            | S38                   |  | 住宅 | 建築物 | 2  |
| 102 | 村上家住宅主屋                    | 愛媛県新居浜市    | E中期/M4頃改修             | 大島(おおしま)の集落中心部にある旧家の屋敷。敷地中央に南面する主屋の前方に表門及び南塀、御成門及び東塀からなる。主屋はつし二階建て入母屋造り平入り本瓦葺きで南面東寄りに式台玄関を構える。塗込めの出格子を付した重厚な外観が旧家の風格を伝える。表門は切妻造り平入り棧瓦葺きで冠木上に束を立て棟木を受ける。南塀は棧瓦葺きの土塀で外壁は漆喰仕上、腰はモルタル塗仕上。表門の東に建つ御成門は切妻造り平入り本瓦葺きで門口に両開板扉を吊り、欄間は横連子とする。東塀は折曲がり延長8・3メートル、棧瓦葺屋根で外壁は白漆喰塗仕上とする。表門と御成門が並び建ち、旧家の格式ある屋敷構えを形成する。  | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 103 | 村上家住宅表門及び南塀                |            | E中期/M4頃改修             |  | 住宅 | 工作物 | 1  |
| 104 | 村上家住宅御成門(おなりもん)及び東塀        |            | E中期/M4頃改修             |  | 住宅 | 工作物 | 1  |
| 105 | 岩村家住宅(旧黒岩家住宅)主屋            | 高知県安芸市     | E末期/M23頃、S50改修        | 用水が廻る前島(まえじま)集落中央部に建つ旧家で、主屋、土蔵、門及び駕籠部屋、瓦練塀からなる。主屋は南面下屋中央を玄関とし東西に内縁(うちえん)を付す。玄関四畳の東は六畳座敷で東に床構え、西は四畳半で戸棚をつくる。近世末期の郷土住宅の佇まいを伝える。土蔵は家財蔵。外壁は漆喰塗仕上で北面腰を瓦張とし、水切瓦を二段付す。通りに面して建つ門は切妻造り棧瓦葺きの腕木門。東に接続する駕籠部屋は切妻造り棧瓦葺きの東西棟。通り沿いに格式ある屋敷構えをつくる。瓦練塀(かわらねりべい)の南塀は、練塀の積土が薄く瓦が密な当地の仕様、上部に軒唐草の棧瓦を葺く。北塀は上部に平の棧瓦葺とする。敷地東辺の景観を特徴づける当地特有の塀。  | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 106 | 岩村家住宅(旧黒岩家住宅)土蔵            |            | M前期                   |  | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 107 | 岩村家住宅(旧黒岩家住宅)門及び駕籠部屋(かごべや) |            | M前期/H26改修             |  | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 108 | 岩村家住宅(旧黒岩家住宅)瓦練塀(かわらねりべい)  |            | E末期/M中期増築             |  | 住宅 | 工作物 | 1  |
| 109 | 旧小松家住宅店舗兼主屋                | 高知県香南市     | M前期/T15・R4改修          | 旧土佐街道に南面して建つ、元酒造業兼煉瓦製造販売業の屋敷。通り面して建つ店舗兼主屋。土蔵、屋敷地南と西を画す煉瓦塀、主屋北の井戸からなる。主屋は間口一杯に庇を通し、二階外壁を弁柄漆喰塗とする。正面土間ミセ、東の通り土間、裏の竈屋を自家製の煉瓦敷とする。街道沿いに独特の景観を呈する。土蔵は家財蔵。外壁は白漆喰塗りで水切瓦を二段付け、西面は腰を堅板張とする。南面に戸口を設け瓦庇を付す。煉瓦塀は南面の主屋際に腕木門の南門、西面の土蔵寄りにアーチ門を開く。街道沿いに重厚な景観を形成する煉瓦塀。井戸は明治中期の建築。酒造用の良水を供した井戸で円筒形井筒を砂岩切石で積み、上部の方形井戸枠は砂岩板四枚を合欠きに組み、鉄の丸太柄を入れる。東方の煉瓦積排水枘とともに一連の構えを残す井戸。                | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 110 | 旧小松家住宅土蔵                   |            | M前期                   |  | 住宅 | 建築物 | 1  |
| 111 | 旧小松家住宅表門及び煉瓦塀              |            | M後期                   |  | 住宅 | 工作物 | 1  |
| 112 | 旧小松家住宅井戸                   |            | M前期                   |  | 住宅 | 工作物 | 3  |



|     | 名称                                 | 所在地        | 建設年代          | 特徴等  | 種別  | 種別  | 基準 |
|-----|------------------------------------|------------|---------------|--|-----|-----|----|
| 113 | 旧九州帝国大学正門及び塀                       | 福岡県福岡市     | T3/T13移築、R5改修 | 通りに東面して建つ旧正門と両脇に続く塀。正門門柱は煉瓦造の角柱で頂部を古典主義的意匠の花崗岩で飾り、左右は控柱を立て通用口とする。大学を象徴する重厚な外観の正門及び塀。   | 学校  | 工作物 | 1  |
| 114 | 興国寺本堂                              | 福岡県田川郡福智町  | T8/R4改修       | 福智山(ふくちやま)南西麓に位置する曹洞宗寺院の本堂と山門及び袖塀。本堂は境内北側に南面して建つ入母屋造り平入り棧瓦葺き。正面中央には二重に虹梁形差物を渡し、力士彫刻の束で飾る。山門は一間一戸入母屋造り銅板葺きの二重門。両脇に銅板葺き袖塀を付す。軒はいずれも緩やかに反らせた二軒扇垂木(おうぎだるき)とし、精緻で斬新なつくりの山門。   | 宗教  | 建築物 | 1  |
| 115 | 興国寺山門及び袖塀                          |            | T13           |  | 宗教  | 工作物 | 2  |
| 116 | 旧佐世保海軍工廠(こうしょう)川棚魚雷遠距離発射場射場(しゃじょう) | 長崎県東彼杵郡川棚町 | T7            | 大村湾北部に位置する旧魚雷試射専用施設。射場、突堤、機械室及び水雷調整室、油庫、観測所からなる。射場は陸地から約五〇メートル離れた海中に、コンクリートブロックで構築した矩形の人工島。煉瓦壁体と鉄筋コンクリート造屋根スラブ等からなる上屋など残す。突堤は射場と陸地を結ぶために海中に築いた扁平な五連アーチ構造物。機械室及び水雷(すいらい)調整室は陸地に突堤と正対して建ち、魚雷用の燃料及び酸化剤などを搭載し、調整した施設。下部は石造、上部は後の増築で壁体を鈹滓煉瓦積とする。油庫は燃料用の格納庫。切妻造り、妻入りの石造平屋建てで、凝灰岩を精緻に積上げ、隅部を算木積で築く、丁寧なつくり。観測所は発射場が位置する片島の山頂に位置し、魚雷試射後の雷跡(らいせき)を観測する建物。二階正面には広角に開いた観測用の窓を突出して海を望む。建物の機能を直裁的に造形化した特徴的な外観。全国的に希少な軍事遺構。 | その他 | 土木  | 3  |
| 117 | 旧佐世保海軍工廠川棚魚雷遠距離発射場突堤(とつてい)         |            | T7            |  | その他 | 土木  | 3  |
| 118 | 旧佐世保海軍工廠川棚魚雷遠距離発射場機械室及び水雷(すいらい)調整室 |            | T7頃/S14増築     |  | その他 | 建築物 | 3  |
| 119 | 旧佐世保海軍工廠川棚魚雷遠距離発射場油庫(ゆこ)           |            | T7            |  | その他 | 建築物 | 3  |
| 120 | 旧佐世保海軍工廠川棚魚雷遠距離発射場観測所              |            | T14           |  | その他 | 建築物 | 3  |
| 121 | 旧志手家住宅(カテリーナ古楽器研究所)主屋              | 大分県杵築市     | M26           | 八坂川北岸の小高い丘陵に位置する旧家の主屋。南中央に式台を構え、北東は床と神棚を備えた座敷とする。田園の中に点景をなす重厚で大規模な主屋。現在は西洋古楽器製造販売の作業場兼主屋として活用。   | 住宅  | 建築物 | 1  |

注

建設年代:Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。

種別:土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。

基準:1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。